

1987年度第4-四半期(1988.1.1~3.31)

会計監査実施

日刊
動労千葉

1988.7.20

No. 2858

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

7.17三里塚現地集會に 570名が結集!



動労千葉は、動労水戸の仲間とともに七・一七三里塚現地集會に決起した。集會は、司会の青年行動隊の伊藤さんにはじまり、基調報告を北原事務局長、敷地内を代表して市東さん、婦人行動隊の平山さん、青年行動隊の木内さんらが発言にたち、新たに建設された育苗ハウスのやぐらを特に、二期決戦をたたかいぬく決意を表明した。いま三里塚は最も暑い決戦を迎えようとしている。労働連帯のたたかいをさらに強め、二期決戦に勝利しよう!

1988年6月28日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋 殿

国鉄千葉動力車労働組合

会計監査員 村田 茂

会計監査員 関 弘

会計監査員 石 幡 佳



会計監査報告書

1987年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に誤りのないことを確認し、下記のとおり報告します。

記

1. 監査期日 1988年6月28日
2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
3. 監査項目
 - (1) 予算執行の適否
 - (2) 経費、支出内容の適否
 - (3) 物品購入価格および方法の適否
 - (4) 消耗品使用の適否
 - (5) 財産および備品管理の適否
 - (6) 現金および預金の確認
 - (7) その他必要と認める事項
4. 確認事項 1988年6月28日現在の預金、現金、証券類の確認

意見

- (1) 組合費および臨時組合費の納入状況はおおむね良好であった。
- (2) 動労千葉共済掛金の納入状況は良好であった。

- (3) 動労千葉共済の給付状況は良好であった。
- (4) 組合基金の納入と保管状況については良好であった。
- (5) 闘争資金の収支決算については異常を認めなかった。
- (6) 第2闘争資金の収支決算については異常を認めなかった。
- (7) その他特別会計についても異常を認めなかった。
- (8) 現金および預金、有価証券と関係帳表との照合については異常を認めなかった。
- (9) 貸借対照表、収支計算書、財産目録、その他関係諸表については異常を認めなかった。
- (10) 帳簿類および領収書の整理状況は良好であった。
- (11) 一般会計の予算執行状況について
 - ① 収入の部では、雑収入が予算対比 138.2%と良好であった。
 - ② 支出の部では、図書費、組織費が若干予算を超過したが、総体的には予算対比 88%と良好であった。
- (12) 備品管理については、概ね良好であった。

総括意見

1987年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより、会計監査を実施した結果、不正にもとづく事実のなかったことを証明します。

JR当局、鉄道労連一体となった動労千葉に対する組織解体攻撃の中で、資金の有効的活用をはじめ、健全な財政運営への努力の跡が見受けられます。JR当局による強制配転、ボーナス・昇給カット等の選別・差別攻撃に対する闘いをはじめ、この救済等の問題を克服し、原則的に闘い抜くための財政基盤の確立にむけて、役員を中心に組織を上げた一層の努力を要請します。